



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立澄川中学校

読書センターとしての機能

★図書館利用への呼びかけ★

生徒用と教職員用がある定期発行「図書館だより」→



←随時行われる司書による館内企画

学校司書の定期的な発信はもちろんのこと、図書常任委員会として生徒の活動が積極的に行われています。新着本紹介は、放送局とタイアップし、委員による「おススメ本」としてテレビ放送で実施したり、各学級にポップを掲示したりしています。「図書館利用方法」は、クロームブックでの動画作成を行いました。図書委員作成のしおりを景品としたスタンプラリーは、長期貸出の際に行われ、図書館利用の一助となっています。

学習センターとしての機能

★授業・利用の支援★

国語科教材「情報を集めよう」の授業では、生徒たちが本から情報を探ることができるよう、図書館内にある資料と配架の状況や日本十進分類表をもとに、本を探す方法について学びました。また、図書分類の理解定着のため学校司書と共に十進分類表を使ったクイズ形式の活動を行いました。



「まな bell」や各種辞典を使用した授業 →

←学校図書館で班で本を探す様子



国語科教材「今に生きる言葉」では、「まな bell」を使用し、新聞記事に故事成語がどのように使われているかを調べ、作文作成の一助とする授業が展開されました。

情報センターとしての機能

★学校祭「新聞切り抜き部門」★

学校図書館廊下掲示における新聞紹介 →



←各学年「新聞切り抜き作品」掲示の様子

学校祭では、「新聞切り抜き」部門の活動が行われました。生徒に新聞に親しみ、複数の情報を比較・検討しながら情報を編集する力を身に付けてもらう取組です。学校図書館では、各種新聞や年鑑、関連図書を資料として提供しました。また、ペーパーコスチューム部門においても図書館資料を使用し、立派な作品を仕上げていました。

学校司書によるレファレンス・サービスが随時行われ、様々な場面において図書館資料の活用が行われています。

※通常の新聞閲覧は職員室前で行っています。